

目標達成計画

作成日: 平成 27 年 10 月 23 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域との付き合いは殆どなく、外出の機会すら持っていない。	地域へ溶け込める場面を想定し、実現していく。	理美容の外出。日常的な散歩。	3ヶ月
2	6	現在、夜間のみ身体拘束対象者が1名いる。现阶段での必要性を検討し、拘束をしないケアへと向けていく。	拘束対応をしないケアが実践できるよう、随時話し合い、なくしていく。	再検討を行い、中止へとつなげ、対応できる体制にする。	2ヶ月
3	21	普段過ごす席が決まっていることから、交流が持っていない利用者がいる。	食事以外は席で落ち着くだけでなく、様々な場所でくつろげるようにする。	一定の席だけでなく、食事席のメンバーを変えてみたりしてみる。	2ヶ月
4	29	地域資源は少ないかもしれないが、資源を利用しようとしていない。	個人・事業所に関わらず、買い物へ利用者と一緒に出掛けられる。	近くの店への買い物は一緒に出掛ける。	3ヶ月
5	54	居室内にパット等がそのまま置かれていたりする。	日中はいつ居室へ戻っても整理されている空間にする。	パット類はクローゼットに片付け、パジャマ等もたんで置くように配慮する。	1ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。